

メッセージ 5

神の御言の神聖な啓示

聖書：エペソ 1:5, 9. II テモテ 3:16. ヨハネ 6:63. I テモテ 1:4.

II コリント 13:14. マタイ 28:19

I. 主の回復は一般的なクリスチャンの働きではありません。主の回復は、神の心の深みにあるものであり、彼の御言の中で明らかにされています。聖書に対するわたしたちの理解と解釈は、伝統的な神学とは異なっています。なぜなら、わたしたちは神の心の願いを顧慮するからです。神の心の願いは、神がわたしたちに御言から見せています——エペソ 1:5, 9. ピリピ 2:13。

II. わたしたちは神の御言の本質を知る必要があります：

A. 「聖書はすべて、神の息吹かれたものであり」——II テモテ 3:16 前半：

1. 神の御言は神聖な息吹き、神の息吹き出したものです。神の語りかけは神の息吹きです。
2. 神の側で、御言は神の息吹きであり、わたしたちの側で、御言はわたしたちが教えと、戒めと、矯正と、義の中での訓練とをわたしたちの益として受けるためです——16 節後半。

B. 神の御言は霊の乳 (I ペテロ 2:2)、命のパン (マタイ 4:4. 申 8:3)、霊であり命 (ヨハネ 6:63) です。

C. 神の御言はキリストであり、神の御言は神ご自身の具体化です——1:1：

1. わたしたちは、白黒の書かれた言葉が生きている神であるとは考えません。
2. 書かれた言葉は神ご自身を内容としており、そしてこの神はキリストです。

III. 神の御言の中にある神聖な啓示には、真理の三つの路線があります。それらは、中心路線、補足的な点の路線、そして「枝葉」です：

A. 中心路線が含むのは、御言 (ヨハネ 1:1. I ヨハネ 1:1)、三一の神 (マタイ 28:19. II コリント 13:14)、神のエコノミー (I テモテ 1:4. エペソ 1:10. 3:9)、すべてを含むキリスト (ヨハネ 1:1, 14. I コリント 15:45 後半. II コリント 3:17)、命を与える霊 (I コリント 15:45 後半. 使徒 16:7. ローマ 8:9-11. I コリント 12:13. エペソ 4:4)、キリストのからだ (1:22-23. 4:16)、新エルサレム (啓 21:2) です：

1. わたしたちが聖書を扱うすべてのとき、中心路線が際立つべきです。
2. わたしたちは特に、中心路線と補足的な点の路線を混同しないように注意する必要があります。
3. わたしたちがすべての信者を受け入れるのは、中心路線の基準にしたがってであり、補足的な点の路線にしたがってではありません——ローマ 14:1。

B. 補足的な点の路線が含むのは、キリストに関する予言、旧約の予表 (創 2:7, 20-24. 出第 25 章. 歴代上 28:11)、召会 (キリストのからだの補足) (I コリント 1:2)、裁

きの座と婚宴を含む王国です（Ⅱコリント 5:10、マタイ 22:2）。

C. 枝葉は、聖書におけるその他の項目であり、中心路線と補足的な点の路線を助けます：

1. これらの項目は、その他の路線の現れ（葉）であるか、その他の路線を成し遂げるための有機的な供給の経路（枝）であるかのどちらかです。
2. 枝葉は、神の定められた道、主の食卓、地方召会の行政、頭のおおい、日を守ることに、携え上げを含みますが、これらに限られていません。
3. わたしたちは枝葉を必要としますが、それらによってそらされるべきではありません。
4. 神の御言の中の中心路線においてわたしたちが前進するのを助けるために、わたしたちはどのようにして枝葉を適用するのかを学ばなければなりません。わたしたちは、それらがわたしたちの中心路線となることを、決して許すべきではありません。

IV. わたしたちは神の御言の啓示の五つの極めて重要な真理について、適切な理解を持っている必要があります：

A. 神のエコノミーは、彼の家庭の行政、案配、ご計画です——Ⅰテモテ 1:4：

1. 神の中に隠されている奥義とは、召会を得て、彼の知恵を表現することです。この奥義は神の案配となりました。彼の案配は彼のエコノミーであり、彼のご計画でもあります——エペソ 3:9-11。
2. 新エルサレムを通して、神はキリストの中ですべてのものをかしらにつり上げます。それは、神の栄光が永遠に表現されるためです。これが神のエコノミーです——Ⅰヨハネ 1:9-11。

B. 神の分与は、神のエコノミーから生み出されており、それは彼のエコノミーの目標です：

1. 神の分与とは、キリストの計り知れない豊富を、三一の神の活動の中で、キリストにある信者であるわたしたちへと分与することです——Ⅲヨハネ 3:8、Ⅱコリント 13:14。
2. 神の分与の結果は、召会がキリストの豊満となることです——エペソ 1:23。

C. 聖書が最初に神聖な三一について明確に語っているのは、マタイ第 28 章 19 節においてです：

1. 父、子、霊はみな神であり、唯一でひとりの神です——エペソ 4:6、ヘブル 1:8、使徒 5:3-4。
2. 父、子、霊は永遠から永遠まで同時同存しています——イザヤ 9:6、ヘブル 1:12、7:3、9:14。
3. 父、子、霊は相互内在しており、分離され得ません——ヨハネ 14:10-11、26、5:43、15:26。
4. 父が持っているものはすべて、子のものであり、そして子が持っているものをすべて、霊は受けています——Ⅰヨハネ 16:14-15。
5. 子は父と呼ばれており、そして霊と成りました——イザヤ 9:6、Ⅰコリント 15:45 後半、Ⅱコリント 3:17。

D. 神・人イエスは、聖霊から胎の中に入ったので（ルカ 1:35、マタイ 1:18-20）、神の

要素を持っており、そして彼は人の処女から生まれたので、人の要素を持っていません（21, 23 節）。彼は神全体であり（ローマ 9:5. コロサイ 2:9）、完全な人（I テモテ 2:5）です。

- E. 主イエスにおいてもキリストにある信者においても、神聖な要素と人の要素のミングリングがあり、第三の要素が生み出されることはありません——マタイ 1:18, 20-21, 23. ヨハネ 1:12-13. I コリント 6:17。

© 2015 *Living Stream Ministry*